



酒田飽海の つや姫・雪若丸情報



令和6年4月11日発行
庄内総合支庁
酒田農業技術普及課
Tel(22)-6521 Fax(22)-6522

初期生育の確保が安定多収への第一歩！

健苗育成で「つや姫」も「雪若丸」も好スタートを！

近年は稲作にとって厳しい気象条件が続いていますが、これまでの栽培管理を見直すチャンスと捉え、さらに収量・品質・食味のレベルが高い、自慢の「つや姫」「雪若丸」を目指しましょう。そのためにも、まずは健苗育成で、令和6年産「つや姫」「雪若丸」のスタートを切りましょう。

1 健苗育成

○表1は「つや姫」「雪若丸」の苗の指標です。葉数、苗丈、第一葉鞘高など指標を確認し管理を行いましょう。「はえぬき」に比較すると「つや姫」はやや苗丈が伸びやすく、「雪若丸」はやや短い特徴があります。



【雪若丸】 【はえぬき】 【つや姫】

図1 稚苗の品種の違い

表1 苗の生育指標（稚苗）

品種	移植 適期葉数 (枚)	育苗日数 (日)	播種量 (乾粃 g/箱)	苗丈 (cm)	第1 葉鞘高 (cm)	乾物重 (/100 本)	必要 苗箱数 (箱/10a)
つや姫	2.5	20~25	150~180	12~13	3.5 以内	1.3 g 以上	23~24
雪若丸				11~12			

- ハウス内に設置する温度計は、育苗箱付近（床土に挿す）、入り口付近や温度が上がりやすいところ等に複数設置すると、こまめな管理に役立ち、自分のハウスのクセもわかります。
- 育苗期間中の管理のポイントは、時期別の温度を適切にすることです。表2を参考に取組みましょう。昔から“苗半作”と言われるように、**健苗育成が安定多収への第一歩です。**

表2 育苗期間中の温度管理の目安

時期	適温	標準葉数	管理の要点
出芽期	30~32℃	0~0.8	出芽まではマルチをし、適温を維持する。 出芽が揃ったら速やかにマルチを剥ぎ取る。 異常高温時には、遮光資材や換気で適温を保つ。
緑化期	昼 25℃	0.8~1.0	日中は弱い光が当たるよう、遮光資材をする。低温時には保温する。
	夜 15℃		
硬化期	昼 20~25℃	1.5~	水かけは朝のうちにたっぷりと。日中の水かけは地温が下がるので控え、できるだけ日に当て換気をする。田植え1週間前頃からは、外気温にならすため、夜もハウスを開放する。
	夜 8℃以上		

2 圃場準備と土づくり

- 根域拡大（気象変動耐性向上）のため、**作土深は15cm以上を確保しましょう**。通常のロータリーでもゆっくり耕起することで15cm程度の作土深にできます。プラウやスタブルカルチ等での耕起も効果的です。ロータリー耕前に粗耕起することで、耕起作業の効率化を図ることもできます。
- 堆肥やケイ酸資材等の施用で、土づくりを継続しましょう。異常気象による収量低下・品質低下を軽減することができます。令和5年産の「つや姫」では、**特に地力の低い地域で**、土づくりの実施により減収が軽減される傾向がありました。

作土深が「浅く」なっています！

令和5年秋に、酒田飽海地域の「つや姫」圃場を中心に19地点の作土深を調査したところ、15cm以上を確保している圃場はわずか5地点でした。作土層・根域が縮小すると、根の養分供給力や水分保持量が低下し、**気象変動への緩衝効果の低下、登熟不良といった影響が出ます**。

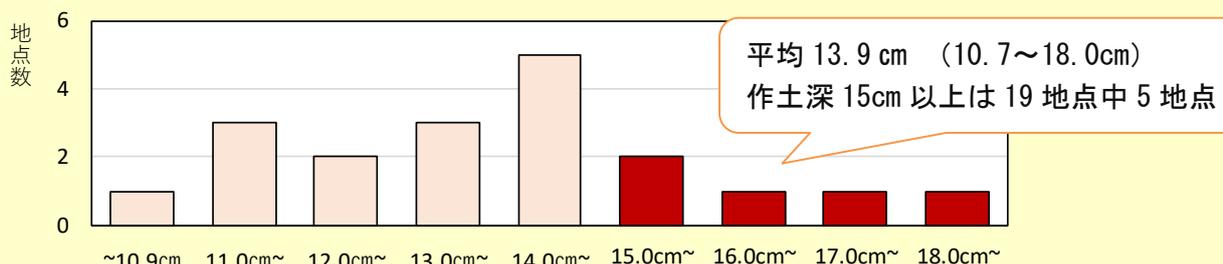


図2 作土深調査結果（令和5年秋 酒田飽海地区）

3 適正生育を確保する本田施肥

- 「つや姫」「雪若丸」の地力別の基肥窒素施肥量は**表3**のとおりです。
- 昨年までの生育や収量、玄米タンパク質含有率から施肥量の見直しは必要ないでしょうか**。「生育が大きかった」、「葉色が濃く推移した」、「タンパクが高かった」方は基肥量から見直しましょう。
- 近年、「雪若丸」の玄米タンパク質含有率が高い傾向にあります**。圃場の地力に合わせて施肥設計で、収量・品質を維持しつつ、玄米タンパク質含有率の適正化を図りましょう。

表3 地力別本田窒素施肥 (kg/10a)

品種名	地力高	地力中	地力低
つや姫	3	4	4~5
雪若丸	4	5	5~6

4 目標とする莖数を安定確保するために

- 「つや姫」「雪若丸」では初期生育の確保が特に大切です**。
- 初期生育を確保するための重要な要素が植込み本数です。1株に多くの苗を植えこむ「大苗」は、1本ずつの環境が悪くなり安定生産には不向きです。1株当たりの植込み本数は4~5本とし、適正な栽植密度（70株/坪程度）に設定しましょう。苗の植付の深さは分げつを促進するために3cm程度にしましょう（表4）。
- 活着後は保温的な水管理で分げつの発生を促し、6月中に有効莖を確保します。また、高温時には、水交換や田干し等きめ細やかな水管理を行って、田ワキの発生を予防しましょう。

表4 田植え時に目標とする株数と植え込み本数

植込み本数 (本/株)	株数 (坪)	植付深 (cm)
4~5	70	3



「春季農作業事故防止運動」展開中！ 4/10~6/10

「声かけあい、助けあい、農作業事故ゼロへ！」